

卓上研磨機と塩酸（サンポール）を使ったハイブリッド夜光貝磨き法

周超音波研究所 工房館 URL <http://syuzou.awk.jp/>

①準備するもの

研磨機、薄い塩酸（サンポール等） プラスティック歯ブラシ



数か月日干しして表面の海藻類を洗浄した夜光貝

研磨機で真珠層が出てくるまで研磨した夜光貝

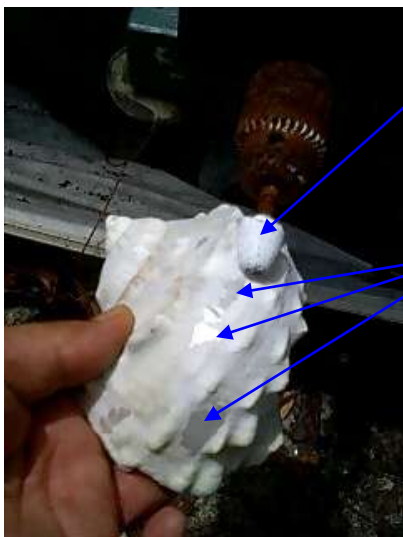
ドリルなどにつける研磨のピース、低回転で研磨すると粉塵の飛散が軽微であり、体に害を及ぼす事は少なくなる

卓上高速研磨機、粉塵の飛散は煙幕状に発生しお奨めしない

ゆっくり模様を作りながら研磨

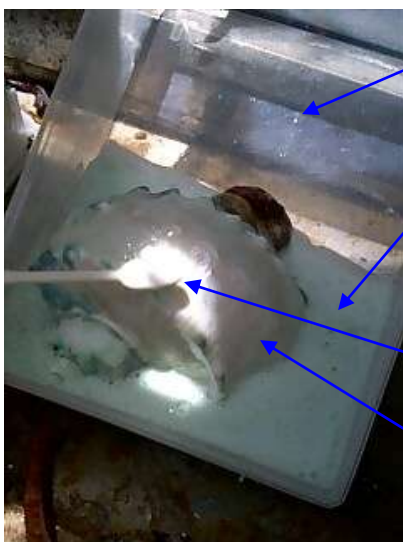
数か月日干しして表面の海藻類を洗浄した夜光貝→研磨機で真珠層が出てくるまで研磨

②研磨→塩酸洗浄方法



研磨ドリルのピース、金物屋で1本120円
ホームセンターでビニールパックされて360
0円ぐらいで販売されていました

面倒くさがり屋はこのように雑に削ってくだ
さい



プラスチック容器

薄めた塩酸

薄めた塩酸に浸しながらプラスチック歯ブ
ラシでこすって真珠層を出していく

真珠層は塩酸で溶けないので、あせる必要はな
い（焼きを入れた場合は溶けます）

研磨ドリルを使用してゆっくり模様だし研磨を行います

ある程度削り出したら→薄めた塩酸に浸しながらプラスチック歯ブラシでこすって真珠層を出す

③部分研磨→塩酸洗浄

大きな夜光貝は少しずつ研磨、洗浄を繰り返して少しずつ仕上げていきます



高速回転している研磨石

角を利用して軽く表面を磨く

表面の石灰等を削り落とす



歯ブラシに薄い塩酸を浸して数回こすると真珠層は美しく出てきて模様もしっかり残る

コツは少しずつ研磨、塩酸洗浄をゆっくり行うことです。

根気が途切れたら、準備していた塩酸に浸して休憩しましょう。



一般に完全に磨くのが主流です。

私は少し残った模様に軽く鉛筆でなぞり、模様描きするために輝きに合わせてイメージングします→今回は赤バラと白薔薇がイメージングされましたのでそのまま真珠層の輝きに合わせバランスを取りながら描き上げました。細かい修正は後から出来ますので思いっきり大胆且つ繊細に描きます。微調整描きは後でゆっくり追加します。

夜光貝シートの作り方

平成22年5月24日 周超音波研究所発行

URL <http://syuzou.awk.jp/>

①夜光貝をバーナーで焼き表面の殻を焼き飛ばします。夜光貝の真珠層はコラーゲンを含むので剥がれません。



バーナーで焼く



水で表面の殻を落とします



焼き処理終了



水を浸した鍋で煮込みの準備

備



塩を一握り添加



重層を大サジ1杯添加



煮込み3日（今回90分）



洗浄の準備、大鍋に煮込み鍋をセット

ット



水洗い開始



水切り



カッターではがす



水に浸しながら指でこす

る。きれいに剥がれる



水切りして乾燥させます



両面テープを準備します

備します



粘着面に夜光貝の薄膜を吸着



出来あがり

シート細工法



適当にカットしてバレッタに貼り付けます

直張り法



ボンドを塗ります



面棒を水に浸します



面棒に夜

光貝薄カットを一枚一枚吸いつけてバレッタに貼り付けます



このような状態になりました

模様たしトリミング仕上げ



油性毛質カラーペンで出来るだけ細く細かく模様描きしていきます

角度を変えて夜光貝の輝きにあった色を選択していきます



緑色で模様たし



赤茶色にピンクのぼかし



このような仕上がり。どこまで細工を仕上げるか？



黒でアクセント



赤に赤基調



ブルーに3原色基調



白に赤基調

模様や色合い、模様積層は好みで行います。

必ず仕上げに透明スプレーラッカーで表面に透明膜を作り夜光貝の輝きが出るようにします。刷毛塗りは模様流れが起きます。スプレーラッカーもこまめに数多く吹き付け塗りをしていかないと模様流れが生じせつかくの細かい模様描きが台無しになります。

夜光貝螺鈿風ランプ細工の作り方

平成22年5月23日 周超音波研究所発行

URL <http://syuzou.awk.jp/>

① 夜光貝の模様を残しつつ真珠層出し研磨を行います。



貝の秘めた色合いを確認！左赤優位、右青優位



ペイントマジックで色模様描きを行います。

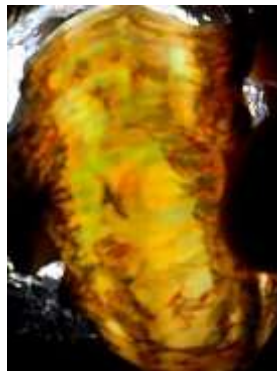


ゆっくりあせらず、描き込みます

② 確認作業を行います



自然の輝き



ランプを点灯した輝き

私は毛質カラーマジックペンの先で細かく少しづつ模様たししています

③このように明細模様やシンプルバラ等模様を思いのまま描き上げていきます



螺鈿風明細



赤バラ模様

④仕上げはクリアラッカーで重ね塗り。3回吹きつけ乾燥を10回ほど行くとレンズ効果が出てきて夜光貝が光を吸収し美しい輝きを発します。また光の当たり具合で、模様の色合いや風格が変化していきます。そのために重ね塗りを慎重に多く行うのが秘訣です。その後も輝きに応じて模様たしもします。

最初の作品、隠し干支

何だったか？

新松

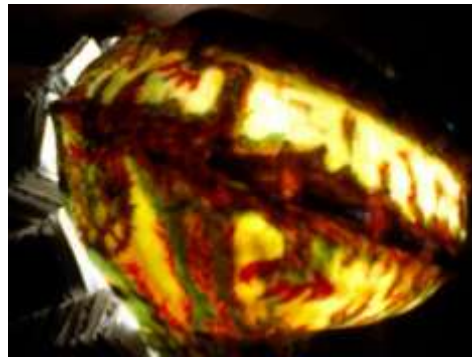


双龍ランプ使用



ランプ点灯





夜光貝の真珠層の輝きと、螺鈿技術、水墨画要素、ランプ利用による素朴な演出などハイブリッド応用で夢幻無限の製品を作成出来るでしょう。出来れば左手で描くことをお勧めします。理由として左利きの人に空間的イメージ力を多く認めるような気がします。

夜光貝は右巻きですので左手に対して螺鈿模様描きが純目になります。細かい細工も重要ですが、貝の持つ秘めた輝きを生かすのは右手描きと左手描き、下書き彩色が同じでも輝き方は異なります。



注文品 家のお守り床の間用